

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	地球温暖化対策				開始年度	平成18年度	
基本目標	地球温暖化防止対策の推進				終了年度	-	
担当課(局)	政策推進課	担当係	総合政策係	記入者	橋本 由香	評価者	森 弘道
21年度決算	0	千円	22年度予算	0	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	364 千円		22年度人件費	1,663 千円		事業従事者数	0.05 人 0.23 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	高鍋町が事業者として排出する温室効果ガス排出量を把握し、地球温暖化対策の推進を図る。
事業の内容	高鍋町地球温暖化対策実行計画の改訂に向け、協議を行う。 高鍋町の各施設が消費する電気、ガス、灯油、重油の量から、温室効果ガスの排出量を把握する。 また、町民一人ひとりが取り組めるような温暖化対策行動等の情報提供など、啓発活動を行う。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 温室効果ガス排出量	年間の電気、ガス、燃料等使用量を把握することにより、節約意識の向上と地球温暖化防止を図る。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 排出量調査	各施設の電気、ガス、燃料等使用量のチャック月報を毎月提出させ、集計を行った。
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	温室効果ガス排出量	目標値	Kg-CO ₂	2,099,957	2,099,957	2,099,957
		実績値		2,363,081	2,141,437	
		達成率	%	112.5%	102.0%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	排出量調査	目標値	施設	22	22	20
		実績値		22	22	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	地球温暖化対策は地球規模の課題である。地球温暖化対策の推進に関する法律で地方公共団体の責務について規定されており、町が行うべき事業である。高鍋町地球温暖化対策実行計画に基づき、平成18年度からの5年間、1事業所としての取り組みを実施しているが、本年度最終年度となるため、計画改訂を行う必要がある。また、今後は町民への啓発活動にも力を入れ取り組んでいく必要がある。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	年間の電気、ガス等燃料使用量を数値的に把握することにより、節約意識の向上、経費節減及び地球温暖化防止を図る。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	毎年、電気の排出係数変動により、温室効果ガス排出量が増加しているが、実際、町施設の各燃料使用量は確実に減少している。地道な積み重ねと職員の意識改革のためにも重要である。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	高鍋町地球温暖化対策実行計画は、事業所としての取り組みのため、協働性は期待できない。しかしながら、高鍋町全体の地球温暖化対策という面で見ると、町民等の協力が不可欠であり、NPO等との協働の余地がある。

事務事業名	地球温暖化対策	担当課(局)	政策推進課
-------	---------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	町施設での取り組みは成果が上がっている。今後は、環境にやさしい自動車・家電等の需要拡大を図ることが必要であるが、町独自の施策展開は難しい。学校等で太陽光発電など補助制度を活用した取り組みを検討してもらいたい。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小	廃止
						○	
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎環境対策の事業は、国も率先して進めていくであろうから、町としても効率的な事業に積極的に取り組んでいただきたい。 ◎地球温暖化防止のため、あらゆる分野への新エネルギー導入促進策の検討が必要である。
	コスト	現状維持	